

高野中で育てたい力

対話力

主体性・積極性

自信

問題解決をするための基礎的な各分野での知識

庄原市立高野中学校 第1学年 国語科学習指導案

単元名：検証しよう高野町の魅力～スズメは本当に減っているか～

- 1 日時 令和元年10月11日（金） 2校時（9:50～10:40）
- 2 学年 第1学年（男子名5名 女子6名 合計11名）
- 3 場所 1学年教室
- 4 単元について

（1）単元観

本単元は中学校学習指導要領 第1学年「C読むこと」ア「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉え、要旨を把握すること。」の事項を受けて設定したものである。

また、本単元では、言語活動例ア「説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動」をもとに、説明文を読んでその筆者の検証に倣い、生徒が他の事柄を検証し文章にまとめる活動を設定した。説明文を読むことを通して事実と意見との関係を捉えるとともに、説得力のある根拠の述べ方を学ばせ、書くことにつながる読む力を育成することをねらいとしている。

教材は『スズメは本当に減っているか』を扱う。教材名にあるように、スズメは本当に減っているのかを科学的に検証する説明文となっている。序論・本論・結論という構成であり、本論では記録や調査資料をもとに筆者が「スズメは本当に減っているのか」を検証していく。また、その検証が筆者の結論を導く根拠となっており、検証の展開が文章の展開となっている。本論における検証では、記録や調査資料についての説明をしたうえで、そこから読み取れる事実を明らかにし、その事実をもとに推測することを繰り返すことで説得力のある文章となっている。

（2）生徒観

～省 略～

～省 略～

### (3) 指導観

指導にあたっては、説明的な文章を読むことを通し事実と意見との関係を捉えるとともに、説得力のある意見の述べ方を学び書くことにつながる読む力を育成するために、大きく二つのことを柱に取り組む。

まず一つ目は、読む力を身に付けさせるために、思考ツールである情報分析チャートを活用することである。説明的な文章の読解について、「伝聞・事実・推測・意見」の違いを捉えることは重要である。また、自分の意見を書く場合についてはさらに重要である。情報分析チャートでは、対象となる資料や情報を「伝聞・事実・推測・意見」の別を判断してチャートに書き込むことで、分析したり、的確に理由づけたりする力を、身に付けさせる。今回の教材では、検証の過程において事実と推測が繰り返され、結論への理由づけになっているため、説明文の展開を視覚化、焦点化させることができる点において、情報分析チャートは有効であると考え。情報分析チャートを活用しながら、生徒に教材を的確に読み取らせるとともに、事実と意見を読み分ける力をつけさせたい。

二つ目は、筆者の述べ方に倣って検証をさせることである。筆者は「スズメは本当に減っているか」の説明文において3つの検証を通してスズメは減っているという結論を導き出している。それに倣い、生徒には「観光客は何に惹かれて高野町を訪れるのか」を「高野町の観光客数」についての記録から検証させる。筆者のように複数の記録から検証するところまではできないが、検証の体験をさせ、文章にまとめさせることで、事実と意見との関係をふまえた説得力のある述べ方を学ばせたい。また、検証のテーマとして「観光客は何に惹かれて高野町を訪れるのか」と設定することで、生徒の意欲を引き出すことができると考える。そして、ペアや班で意見を交流して共有化する中で観光客数の記録から客観的な事実として高野町へ多くの人が訪れていること、またその事実には、高野町の地域の特色が関連していることを推測させ、高野町というふるさとへの興味や関心を高めさせたい。

## 5 大会主題との関連

～省 略～

## 6 単元の見目標

- (1) 科学的な文章を読んで自分の考えをもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 説明文の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、筆者の主張を把握することができる。  
(思考力、判断力、表現力C読むこと(1)ア)
- (3) 説明文の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。  
(思考力、判断力、表現力C読むこと(1)エ)
- (4) 複数のグラフや表などから、事柄の原因と結果、筆者の意見とその根拠など、情報と情報との関係について理解することができる。  
(知識及び技能(2)ア)

## 7 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語について知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な文章を意欲的に読もうとしている。</li> <li>グラフや表などに興味をもち事実や推測を捉え、まとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、筆者の主張を把握している。 (思考力、判断力、表現力C読むこと(1)ア)</li> <li>説明文の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 (思考力、判断力、表現力C読むこと(1)エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のグラフや表などから、事柄の原因と結果、筆者の意見とその根拠など、情報と情報との関係について理解している。 (知識及び技能(2)ア)</li> </ul>

## 8 指導と評価の計画(全9時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価方法
		関	読	言	評 価 規 準	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の課題を設定し、全文を通読する(1時間)</li> <li>文章の構成を整理し、筆者の主張を読み取る。(2時間)</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な文章を意欲的に読もうとしている。</li> <li>説明文の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、筆者の主張を把握している。</li> </ul>	観察 ワークシート 発表 振り返り
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の検証を確認する(2時間)</li> <li>検証の方法やその効果から説得力のある意見の述べる技を考える。(1時間)</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のグラフや表などから、事柄の原因と結果、筆者の意見とその根拠など、情報と情報との関係について理解している。</li> <li>説明文の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</li> </ul>	観察 ワークシート 発表 振り返り

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「説得力のある意見」を述べる技を理解し、検証する。(1時間)【本時】</li> </ul>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表などに興味をもち事実や推測を捉えまとめようとしている。</li> <li>・事実と意見との関係などに注意して検証することができる。</li> </ul>	観察 ワークシート 発表 振り返り
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「説得力のある意見」を述べる技を意識して、自分で検証したことを文章にまとめる。(1時間)</li> <li>・検証文を読みあい、交流する。</li> </ul>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表などに興味をもち事実や推測を捉え自分の検証を文章にまとめようとしている。</li> <li>・事実と意見との関係などについて整理し、説得力のある書き方をしている。</li> </ul>	観察 ワークシート 振り返り

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

事例を検証する活動を通して事実をもとに推測することができ、班で意見を深め合うことによって、説得力のある検証の構想メモ(情報分析チャート)を作ることができる。

ねらい(本時の目標)	ねらいの評価方法「何が」「どのように」できたらよいのか
説得力のある意見を述べる技を使い、検証することができる。	説得力のある意見を述べる技である事実と推測を考え、班で意見をまとめることができる。(ワークシート)
めあて(生徒の活動, 目標) 一板書提示「山場」「ねらい」	山場(足場)
グラフから事実をまとめ、推測しよう(山場) 説得力のある意見となるように検証しよう(ねらい)	事実をもとに推測することができた!

### (2) 授業UD化に向けた手立て(支援)

全体への手立て(◇)	支援を要する生徒への手立て(◆)	目標達成者への手立て(○)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報分析チャートで構想をまとめさせる。(視)(焦)</li> <li>・板書にポイントを示して考えさせる。(視)</li> <li>・班活動を通して、考えを交流し合う。(共)</li> <li>・事実と推測を付箋で整理させる。(共)</li> <li>・学習を想起させる(共)</li> <li>・グラフを電子黒板で提示する。(視)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに注目するかを具体的に示して考えさせる。(視)</li> <li>・指で数字を押させたり、鉛筆で丸をつけさせたりする。(焦)</li> <li>・教科書を見て、筆者の述べ方を参考にさせる。(視)</li> <li>・数値の最大値と最小値に注目させる。(焦)</li> <li>・ペアで事実と推測がつながるものとなっているか、互いに確認させるとともに、どんな推測をしたか交流させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている生徒への支援や助言をさせる。(共)</li> <li>・さらに検証するならどんな情報が必要か考えさせる。(共)</li> </ul>

### (3) 準備物

ワークシート、本時の流れを示すホワイトボード、付箋、グラフ、情報分析チャート、電子黒板

(4) 学習展開

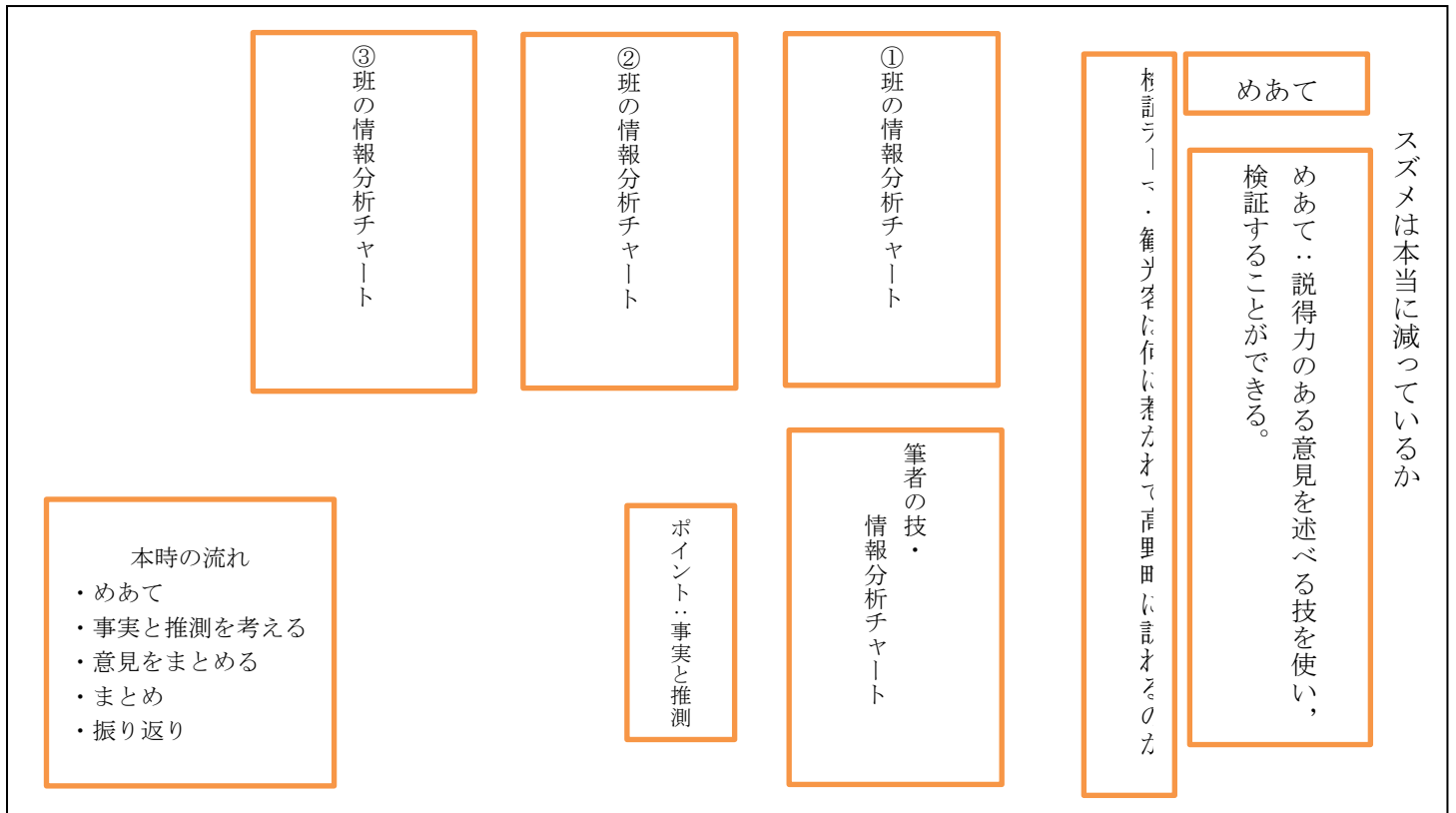
	<p>学習活動 (予想される生徒の答え)</p>	<p>UD化に向けた手立て ◇全体への手立て ◆支援を要する生徒への手立て ○目標達成者への手立て</p>	<p>評価規準 (評価方法)</p>
<p>導入</p>	<p>1. 前時までの内容を復習する。 ○説得力のある意見を述べる技を確認する。 「筆者は説得力のある意見を述べるために色々な技を使っていました。」 ・具体的な数値や表を提示 ・事実→推測→意見 ・事実と考えが対応している ・何度も繰り返し検証 ・分かりやすい文章構成</p> <p>2. 本時の課題を把握し、めあてを確認する。 「みんなも説得力のある意見を述べる技を使ってみましょう。」</p> <div data-bbox="209 898 1115 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて：説得力のある意見を述べる技を使い、検証することができる。</p> </div>	<p>◇学習を想起させる(共) ◆教科書を見て、筆者の述べ方を参考にさせる。</p> <p>◇板書にポイントを示して考えさせる。(視)</p>	<p><b>問題解決をするための基礎的な各分野での知識：</b> 情報分析チャートで筆者の検証を本時の参考にさせる。</p>
	<p>「みんなの住む高野町のことについて調べてみました。高野町の観光客数は庄原市で何番目に多いと思いますか。」 「観光客は高野町の何に惹かれて観光に来ているのでしょうか。高野町の観光客数の記録からみんなで検証してみましょう。」</p> <div data-bbox="209 1346 1115 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>検証テーマ：観光客は何に惹かれて高野町に訪れるのか。</p> </div>	<p>◇グラフを電子黒板で提示する。(視)</p>	

<p>展開1</p>	<p>3. 観光客数の記録から分かる事実をもとにその要因を推測する。  「高野町の観光客数の記録をもってきました。この記録から高野町の観光についての事実はどうなことですか？ピンクの付箋一枚に一つ書きます。」  「その事実があるのはなぜだろう。考えられる理由を推測して水色の付箋一枚に一つ書きましょう。」</p> <p>4. 事実と推測が整合、対応しているか確認する。  「ペアで事実をもとに推測ができているか確認をしながら、交流しましょう。」</p>	<p>◇事実と推測を付箋で整理させる。(共) (視)  ◆指で数字を押さえせたり、鉛筆で丸をつけさせたりする。(焦)  ◆数値の最大値と最小値に注目させる。(焦)  ◇事実と推測がワークシートに対応するように、付箋をはらせる。(共) (視)</p> <p>○困っている生徒への支援や助言をさせる。  ◆ペアで事実と推測がつながるものとなっているか、互いに確認させるとともに、どんな推測をしたか交流させる。  ◇事実と推測を付箋で整理させる。(共) (視)</p>	<p>グラフや表などに興味をもち事実や推測を捉え自分の検証をまとめようとしている。(発表・観察・記述)</p>
<p>山場</p>	<p>高野の観光客数の記録から、検証テーマについて事実をもとに推測することができた！</p>		
<p>展開2</p>	<p>5. それぞれの事実と推測をもちより、検証テーマについて班で意見(結論)をまとめ、情報分析チャートに書かせる。  「事実と推測を使ってテーマに対する班での意見をまとめます。そして、情報分析チャートを完成させましょう。」</p> <p>6. 全体に発表し、交流する。  「どの班の意見がより説得力があるでしょうか。また、なぜそう思いますか。」</p>	<p>◇情報分析チャートで構想をまとめさせる。(視) (焦)  ◇班活動を通して、考えを交流し合う。(共)</p> <p>○さらに検証するならどんな情報が必要か考えさせる。(共)</p>	<p>事実と意見との関係などに注意して検証することができる。(観察・発表・記述)</p>
<p>まとめ</p>	<p>7. 本時の振り返り  振り返りカードに記入する。</p>	<p>◇学習を想起させる(共)</p>	<p>振り返り</p>

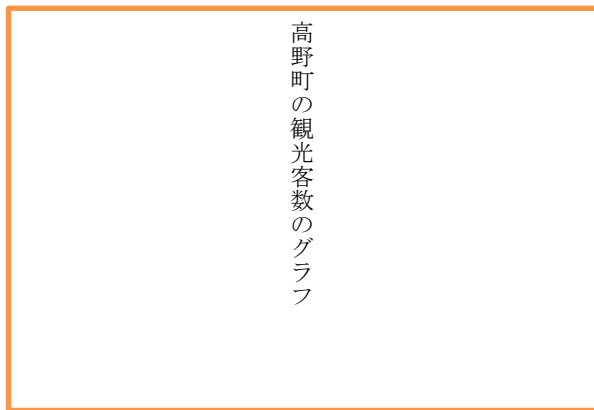
**主体性・積極性:**できるだけたくさんの推測を考えさせる。

**対話力, 自信:**自分のことばで説明する。

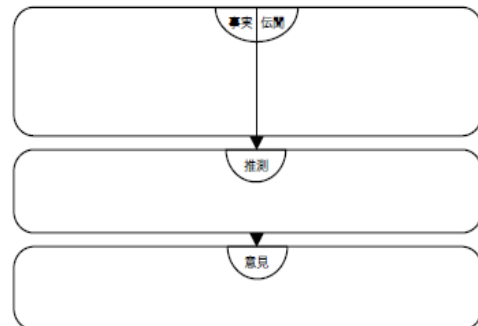
## (5) 板書計画



## 電子黒板



## 情報分析チャート



- ・分析する
- ・理由づける
- ・見通す